

スクラッチ/パッケージ開発・機能拡張のすべてに対応する アップボックス アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」提供開始

開発工数を従来比最大3割減、他社開発アプリの機能拡張にも対応し内製化も支援
小売など会員管理や基幹システム連携を要する業種を中心に3年後200社導入を目指す

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）は、2023年4月より、企業向けアプリビジネスプラットフォーム「APPBOX（アップボックス）」（<https://iridge.jp/service/appbox/>）の提供を開始することを発表します。

「APPBOX」は、アプリで使う各種機能群（SDK[※]）を組み合わせることで、ゼロからのアプリ開発や既存アプリの機能拡張、マーケティング施策まで、アプリビジネスに必要なすべてを支援するプラットフォームです。他社で開発したアプリの機能拡張にも活用でき、また、各種他社ツールとの連携も柔軟におこなえるのが特長で、小売企業などの会員システムを導入している企業や、基幹システムとの連携が必要な企業を中心に導入を進め、3年後の200社導入を目指します。

※SDK（Software Development Kit）：ソフトウェアを開発するのに必要なプログラムやAPI、文書、サンプルなどをまとめてパッケージ化したもの

APPBOXを活用することで、アプリのスクラッチ開発/パッケージ提供/機能拡張 をスピーディーに実現



アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」提供開始の背景

アイリッジでは、小売・流通業界や、金融業界、鉄道・MaaS 関連業界の大手企業を中心とした、さまざまな企業の OMO アプリの開発支援実績があります。これらの企業においては、会員システムや基幹システムとアプリとのサーバー連携など、大規模なシステム開発が必要になることが多く、アプリ開発コストは年々上昇の傾向にあります。また企業の DX への取り組みの一つとして内製化や複数の外部企業・ツールとの連携も出てくる中、アプリ開発・運用を取り巻く環境はますます複雑になってきています。このような中で、開発環境や連携ツールを問わず、コストを下げつつスピーディーな開発・運用のおこなえる「APPBOX」を提供することで、アプリを活用したビジネスをおこなうすべての企業の課題解決を目指します。

「APPBOX」が提供する5つの価値について

「APPBOX」は、「BOX 機能」と呼ばれる30種類以上のSDKをそろえたアプリビジネスプラットフォームです。必要な「BOX 機能」を組み合わせることで、スクラッチ開発・パッケージ・機能拡張のすべてのアプリ開発と、アプリの運用・マーケティング施策に対応できます。「APPBOX」は以下の5つの価値を提供します。

1. 工数/工期を抑えたスクラッチ開発（費用は個別見積もり）

スクラッチ開発では、企業様のビジネスに最適なアプリをカスタマイズして開発します。「BOX 機能」の活用により、ゼロから機能を作るよりスピーディに開発でき、通常のスクラッチ開発に比べて最大3割程度の工数削減ができる見込みです。

2. 捨てずに拡張できるパッケージアプリ（初期費用75万円、月額10万円～※税抜）

パッケージアプリでは、最短1ヶ月でミニмум機能のアプリ開発と開発後のマーケティングも可能です。最大の特長は、「BOX 機能」の追加により、機能拡張する際に、既存のパッケージアプリを捨てることなくそのままスクラッチ開発へと移行できる点です。まずは素早く立ち上げ、アプリ利用者が増えてきたらカスタマイズする、といった戦略を可能にします。

3. ベンダーフリーで内製化も妨げない機能拡張（初期費用25万円～、月額10万円～※税抜）

他社開発アプリを含む既存アプリの機能拡張にも利用可能で、任意の「BOX 機能」を組み込むことで、ゼロから機能を作るより早期にバージョンアップがおこなえます。ベースとなるアプリの開発元を問わずに組み込める点は類似サービスにはない特長で、内製開発アプリにも本格的なエンタープライズ型同様の機能を追加できます。

4. 高速PDCAを可能にするマーケティング支援機能

ホーム画面等をアップデートなくレイアウト変更、その効果をABテストで効果測定
プッシュ通知、アプリ内メッセージもABテストが可能で、PDCAを高速に回転可能



ホーム画面だけでなく全画面をアップデートなくレイアウト変更でき、その効果をABテストで検証できます。マーケティング施策の基本となるプッシュ通知やアプリ内メッセージもABテストが可能で、PDCAを高速に回すことができます。静的なコンテンツだけでなく動的なコンテンツもフリーレイアウトおよびABテストがおこなえ、例えばCMSで投稿したニュースコンテンツ等にも対応できます。また、新規ユーザーの翌週継続利用率約1.7倍を実現した実績や、商業施設アプリにおける購買率2.9倍アップ、会員ランクアップ率3.5倍アップなどの支援実績を持つ専門チームによるアプリ成長支援サービスも提供しています。

5. 「APPBOX コネクト」をはじめとする柔軟な他社連携・カスタマイズ

通常は、サーバー間のデータ連携においては、入力データ・出力データ間でのフォーマットの違いや連携方式などの違いによって個別開発を行う必要がありますが、データ連携部の手続きを共通化し、仕様差を吸収可能な「APPBOX コネクト」を利用することで他社連携もスムーズに実現します。例えば会員システムや POS と連動したアプリも通常に比べて簡単に開発できます。「APPBOX コネクト」に対応するサービスは順次拡大していく予定です。他にも、これまでの開発でおこなってきた多くのカスタマイズ、連携実績を活かし、さまざまなご要望に対応可能です。

■APPBOX BOX 機能一覧

機能分類	機能名
アプリ機能	フリーレイアウト/ホーム画面/スプラッシュ・チュートリアル/強制アップデート/ニュース・記事/店舗一覧・検索/カタログ・アイテム/お気に入り/会員証/クーポン/ポイント/店内モード
データ収集	ユーザー属性/イベントトラッキング(ノーコードトラッキング)/ID link/CRM データ連携
データ分析	AB テスト/KPI 分析/レポート/来店検知/アプリデータ外部連携
施策実行	プッシュ通知/プッシュ通知お知らせ一覧/アプリ内メッセージ/セグメント設定・配信
運用	管理者向け機能提供/管理者向け API 提供/ユーザー向け API 提供/サンドボックス環境/各種カスタマイズ

※現在開発中の機能を含むため、仕様が変更される場合があります。

株式会社アイリッジ

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow : テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業の OMO (Online Merges with Offline) 支援を軸に、リテールテック、フィンテック、MaaS、VUI (音声インターフェース)、業務支援等、幅広い領域で DX を支援しています。OMO 支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績に加え、アプリマーケティングにも強みを持ち、データに基づく施策でユーザーを優良顧客へと育成するファン育成プラットフォーム「FANSHIP」を通じて、購買促進や CX 改善の支援を行っています。

<https://iridge.jp/>

※記載されている各社の会社名、サービス名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。